令和2年度　第1学年　家庭　年間指導計画

期	月・週	単元名	単元の目標	時間	観点別学習状況の評価規準 ・関心＝生活や実技への関心・意欲・態度 ・工夫＝生活を工夫し創造する能力 ・技能＝生活への技能 ・知識＝生活や技術についての知識・理解		評価方法 テスト	実技テスト	学習ノート	提出物	観察	学習指導要領
1	4 ②	＜A家族・家庭と子どもの成長＞ 家庭科分野ガイダンス	・自立をめざして学ぶ。	2	関心	中学校で学ぶ家庭科に関心を持ち，意欲的に学ぼうとしている。これから学ぶ家庭科に関心をもっている。			○	○	○	A(1)ア
					工夫							
					技能							
					知識							
	5 ③	＜B食生活と自立＞ ・食事が果たす役割 ・生活習慣と食事 ・中学生に必要な栄養	・食事調べをして自分の食生活をふり返り，それぞれの課題を見つける。 ☆6つの基礎食品群についての説明をする時に，給食との関係にも触れる。 ・食事を規則正しくとることの重要性がえあかる。 ・栄養素の種類とはたらきを理解し，中学生に必要な栄養の特徴がわかる。	3	関心	食事調べを通して，自分の食生活に関心をもち，健康な食生活について考え，課題を見つけようとしている。			○		○	B(1)ア イ (2)ア (3)ア
					工夫	食事調べを通して課題を見つけ，健康な食生活について考え，具体的に改善できるように工夫している。			○	○	○	
					技能							
					知識	食事調べを通して，食事の役割や，健康な食生活について説明できる。	○		○	○		
	6 ④	・食品と栄養	・食品の栄養的な特徴を理解し，食品群別摂取量のめやすを活用できる。	4	関心							B(2)ア
					工夫							
					技能							
					知識	中学生に必要な栄養と食品群別摂取量のめやすについて理解している。	○		○		○	
	7 ③	・食事の計画 ・生鮮食品と加工食品	・中学生に必要な食品の種類や概量と，1日分の献立を立てることができる。 ・生鮮食品と加工食品の特徴がわかる。	2	関心	中学生の1日分の食事のとり方に関心をもち，必要な栄養量を満たす食事のとり方を理解し，実践しようとしている。			○		○	B(2)イ
					工夫	中学生の1日分の献立について課題を見つけ，必要な栄養量を満たすために，料理や食品の組み合わせについて考え，工夫している。			○	○	○	
					技能							
				1	知識	中学生に必要な栄養量を満たす1日分の献立の立て方について理解している。	○		○	○		
2	9 ③	・食品の表示 ・食品の選択・購入と保存	・食品の表示の意味を理解できる。 ・食品の鮮度や表示を見て，自分で選択できる。 ・購入した食品を適切に保存できる。	1	関心							B(2)ウ
					工夫	用途に応じた食品の選択について，収集・整理した情報を活用して考え，工夫している。			○	○	○	
					技能	身近な食品を選択するために必要な情報を収集・整理することができる。			○		○	
	10			2	知識	生鮮食品と加工食品の表示の意味と見分け方について説明できる。	○				○	
	④ 11	・食品の安全と情報 ・調理の計画	・食の情報を正確に読み取り，自分で判断できる。 ・調理の流れと手順がわかり，計画を立てることができる。	1	関心	日常食の調理に関心をもち，調理技術を確実に習得しようとしている。					○	B(3)ア
				1	工夫	日常食の調理について，手順や時間を考えて，協力して能率的に調理できるように工夫している。					○	
	④ 12	・調理の基本 ・調理実習	・安全や衛生に注意することができる。 ・火・包丁・まな板・計量器具の使い方がわかる。 ・簡単な食事が調理できる。	1	技能	調理の目的や食材に合った基本的な調理操作が確実にできる。		○			○	
				9	知識	食品や用具等の安全と衛生に配慮した取り扱いについて説明できる。	○		○			
	③	＜C住生活の自立＞ ・住まいの様々な役割 ・共に住まう	・住まいの基本的な働きを理解し，住まいに必要な空間とその役割がわかる。 ・家族によって住まい方が違うことがわかる。 ・家族の生活行為と住まいの空間とのかかわりがわかる。	1	関心	住空間と生活行為とのかかわりについて関心をもち，実生活に生かそうとしている。					○	C(2)ア
					工夫							
3	1				技能							
	③			1	知識	住居の基本的な機能について日常生活と関連させて理解している。	○		○			
	2 ④	・家族の健康と室内環境 ・家庭内の安全 ・災害への備え ・災害時の住まいと暮らし	・室内の空気が汚れる原因を知り，健康に配慮した住まい方を考え，工夫することができる。 ・家庭内の事故の種類とその原因がわかる。 ・家族の安全を考えた住まい方を工夫dえきる。 ・災害への備えの必要性がわかり，住まいや地域における工夫を考えることができる。 ・地域とつながる視点から安全で快適な住まい方について考えることができる。	1	関心	安全で快適な室内環境に関心をもち,整え方や住まい方の具体的な課題に取り組もうとしている。			○		○	C(2)イ
				1	工夫	室内環境について,課題を見つけ，安全で快適な住まい方について考え，実生活に照らし合わせて工夫できる。				○		
				1	技能							
				1	知識	安全で快適な室内環境の整え方や住まい方に関して効果的な方法について理解している。	○		○			
	3 ②	・地域に配慮した暮らし ・これからの住生活と環境	・住まい方が地域に及ぼす影響がわかり，住まい方を工夫できる。 ・生活騒音の種類と問題点を理解し，適切な防音対策を工夫できる。 ・環境に配慮した住まい方を考え，地球温暖化との共生に関心をもつ。	1	関心							C(3)ア
					工夫	非常時の備えや学校内の安全点検などの学習を通して，安全で快適な整え方や住まい方を工夫している。						
					技能				○		○	
				1	知識							
		総時数		35								